



# 浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

春夏号

Vol.88

2022 (令和4年)

pickup

浦添市医師会設立30周年ご挨拶  
第22回 うらそえ市民公開講座 FM21特別ラジオ放送

## CONTENTS

- 01 浦添市医師会設立30周年にあたり
- 02 第60回浦添市医師会定時総会
- 03 浦添市新型コロナワクチン集団接種報告
- 04 第60回浦添市医師会ゴルフコンペ 宮良クリニック 上原 哲夫 先生
- 06 第22回うらそえ市民公開講座FM21特別ラジオ放送  
『小児の新型コロナワクチン接種について～知りたい・聞きたい・今わかっていること～』
- 09 令和3年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告  
会員寄稿  
11 『閉院顛末記』 牧港泌尿器科 院長 金城 勤 先生  
会員寄稿  
13 『閉院、廃業の挨拶』 外間眼科 院長 外間 政利 先生  
会員寄稿  
14 『子宮頸がんワクチンの勧奨接種再開について』 まちなと小児クリニック 院長 新垣 義清 先生
- 15 病院だより
- 16 理事会報告
- 18 訃報
- 19 入会・退会・異動報告
- 20 講演会・研修会等のご案内
- 21 事務局からのお知らせ
- 23 編集後記

浦添市医師会提供ラジオ番組  
「ゆんたく健康トーク」出演予定

### 表紙の写真



てだこちょうハウス

浦添市美術館敷地内の少し奥まったところに「てだこちょうハウス」があるのをご存じでしょうか。県蝶に指定された日本最大級のチョウの一種、オオゴマダラやアゲハ蝶、幼虫等が飼育されています。

てだこちょうハウスは2000年頃に設置された後、しばらくして廃れてしまいましたが、「オオゴマダラを楽しむ会」の興儀さんがハウスを整備し、2012年の春にてだこちょうハウスが復活したそうです。なんと2014年には沖縄国際映画祭で「うちなーディープスポット賞」にも輝いています。

天気の良い日はたくさんの蝶がひらひらと舞い、眺めているととても優雅で癒されます。ぜひお出かけになってみてください。 ※入場無料です。

## 浦添市医師会設立30周年にあたり

会長 洲鎌 盛一



平成4年4月1日の浦添市医師会設立から30周年を迎え、会員の先生方、日頃の御支援に厚く御礼申し上げます。

節目となる30周年記念ですが、コロナ禍のため、大変残念ではありますが祝賀会等の記念行事を執り行うのは中止とさせていただきます。

先生方への御挨拶として、25周年から30周年の経過を文面で振り返りたいと思います。

平成15年に制定された浦添市医師会の基本理念を、令和2年12月に改訂しました。  
1. かかりつけ医機能の推進 2. 病診行連携の推進 3. インフォームドコンセントの推進 4. 積極的な情報発信 現状の医師会活動に即した内容とし、地域社会へ貢献できる活動を実践していきたいと考えています。

令和3年には浦添市医師会のロゴマークが公募により決定しました。市内牧港在住の又吉季美さんの作品です。浦添市の「う」と医師会の「い」をモチーフに、病院・診療所・行政の連携を3つの形で表現。それぞれが支えあいひとつになることで「力強さ」をイメージし医師会の繁栄を表現。「てだこの都市・浦添、の太陽を描くことで地域に根差す地域医療の発展と貢献をシンボライズしています。医師会報の表紙に描かれたロゴマークをぜひご覧ください。

令和2年4月には新型コロナウイルスPCR検体採取センターを立ち上げました。その後は、複数の会員施設でのPCR個別検査体制も整いました。

令和3年3月からは医療従事者を優先とする新型コロナワクチン接種が開始されました。同年5月8日からは65才以上の高齢者集団接種が浦添市保健相談センターで始まり、12歳以上の集団接種へと進みました。令和4年3月現在、3回目の集団接種が進行しており、皆様の協力なしではできないプロジェクトです。

最後になりますが、先生方にはコロナ禍で翻弄される毎日ですが、自分の身も守りつつ、ワクチン集団接種、個別接種、学校医、学校健診など様々な医師会活動に協力していただき大変感謝申し上げます。

浦添市医師会基本理念を念頭において頑張っていきましょう。これからもご指導、ご鞭撻をよろしく願いいたします。

令和4年4月吉日

## 第60回 定時総会

日時:令和4年3月28日(月)19:00  
場所:浦添市医師会事務局

第60回浦添市医師会定時総会が、3月28日(月)19時から浦添市医師会事務局にて開催された。

司会の藏下要理事より、会員数270名のうち242名の委任状を含む出席による本総会成立と、上程された全ての議案について決議が可能との報告があり、開会が宣言された。続いて洲鎌盛一会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、議場に諮ったところ執行部案の洲鎌盛一会長が選出された。

- ・ 議決権のある当法人会員総数：270名
- ・ 総会員の議決権の数：270個
- ・ 出席会員数(委任状によるものを含む)：242名
- ・ この議決権の総数：242個

### 第60回浦添市医師会定時総会

- 1.開会宣言
- 2.会長挨拶
- 3.議長選出
- 4.議事

- 第1号議案 令和3年度(第30期)補正予算案に関する件(満場一致で承認)  
第2号議案 令和4年度(第31期)事業計画案に関する件(満場一致で承認)  
第3号議案 令和4年度(第31期)収支予算案に関する件(満場一致で承認)  
第4号議案 その他  
以上をもって議長より本総会の議事を終了した旨が述べられ閉会した。



## 新型コロナウイルスワクチン3回目接種・小児接種に係る 集団接種(第Ⅱ期)開始!!

浦添市医師会事務局

昨年11月を以って一旦終了となった新型コロナウイルスワクチン集団接種ですが、年明けより3回目接種に向けた体制準備が進められ、2月5日(土)より集団接種のセカンドステージが開始されました。

場所も昨年と同様の浦添市カルチャーパーク特設接種会場で行われ、会員施設からの医師・看護師・事務職員をはじめ、市外医療施設や潜在看護師さんの協力のもと進められています。

4月26日(土)からは、5歳から11歳の小児・児童を対象としたワクチン接種も開始され、特に小児科施設の医療従事者の皆さんには多大なご協力を賜り感謝申し上げます。

県内では依然として感染者数が高い水準で推移しており、終息時期が見通せない状況が続いていますが、引き続き沖縄県や浦添市との連携・協同のもと、ワクチン接種の推奨と各種取り組みに貢献していきたいと思っております。

なお、現在実施中の集団接種は5月いっぱいまで特設会場での実施を終了することとなり、今後は個別医療施設での個別接種へのご協力をお願いいたしますが、**4回目接種(\*)**に向けての体制構築も鋭意進められておりますので、引き続き会員施設各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 浦添市における4回目接種に向けた新型コロナワクチン接種体制(\*5月末現在情報)

対象者：60歳以上、18歳以上の基礎疾患を有する者で3回目接種より5ヶ月以上経過した者

接種開始時期：令和4年5月末より順次開始(\*60歳以上には接種券送付)

接種場所(方法)：個別医療施設での個別接種および集団接種(\*)

\*集団接種は接種対象者数がピークとなる夏場(7月・8月)に浦添市保健相談センターで臨時的に実施予定。



# 第60回 浦添市医師会ゴルフコンペ



日時:令和4年3月21日(月・祝)7:30  
場所:琉球ゴルフ倶楽部



医療法人月桃会 宮良クリニック 上原 哲夫

コロナ禍でしばらく中止されていましたが浦添市医師会ゴルフコンペは、多くの社会行事の再開を背景に、マスクを着用するなどの十分な感染対策を行った上での久しぶりの開催となりました。

前日までは雨模様で心配された天気も、曇り空の中時折涼しい風の吹く気持ちの良い中、濡れることなく完走できました。

コースは南→西コースで行われ、3パーティー9人の先生が参加されました。2週間前のダイキンオーキッドの名残か、グリーンは速く、ラフも大変、バンカーは砂少なめ、最終ホールのグリーンはプロがも苦労する程の完成途中の難しいコンディションでした。

成績の方では、まずニアピン賞は、ここぞとばかりの集中力で南2、西8の2本を山内英樹先生、南7を辺土名仁先生、西3を藏下要先生が獲得されました。

またドラコン賞は南3、西7とも新兵器の噂のステルスを持ち込んだ比嘉耕一先生が独占しました。また南(1.2.3.6.7.9) 西(1.2.5.6.7.8)のハンディホールを用いたダブルペリア方式の成績では、グロス90台4人、100台4人の中、栄えある優勝は福本泰三先生、2位比嘉耕一先生、3位上原哲夫、4位辺土名仁先生、5位源河朝博先生、6位藏下要先生、7位銘苅晋先生、8位山内英樹先生、洲鎌盛一先生は後半途中リタイヤされました。

和気藹々と勝負の真剣さのプレーの中で、無事復活されました源河先生の安定したプレーや、コンパクトなテイクバックから鋭い弾道を放つ優勝されました福本先生のショット、新兵器のドライバーでドラコン賞に輝いた比嘉先生のプレーなどが印象的でした。他にも多くのナイスプレーがあったと思いますが、終了後すぐ解散という流れでしたので、そのご報告をできないのが残念です。

昨今の状況の中では、ラウンド後の反省会や交歓会、表彰式も行えませんでした。マスクをしながらもゴルフを楽しめたことを、ご準備をされましたスタッフに感謝申し上げます。

次回も多くのゴルファーの皆様が、体調に気を配りながら元気で参加されます事を期待し、今回の報告とさせていただきます。

## 第60回浦添市医師会ゴルフコンペ結果



|     |        |            |
|-----|--------|------------|
| 優勝  | 福本泰三先生 | 浦添総合病院     |
| 準優勝 | 比嘉耕一先生 | ひがハートクリニック |
| 3位  | 上原哲夫先生 | 宮良クリニック    |
| 4位  | 辺土名仁先生 | みどり耳鼻咽喉科   |
| 5位  | 源河朝博先生 | げんか耳鼻咽喉科   |
| 6位  | 藏下要先生  | 浦添総合病院     |
| 7位  | 銘苅晋先生  | 浦添総合病院     |
| 8位  | 山内英樹先生 | 同仁病院       |



今回のゴルフコンペは2年ぶりの開催となりました!



(左から)源河朝博先生、山内英樹先生、銘苅晋先生



(左から)比嘉耕一先生、上原哲夫先生、福本泰三先生



(左から)辺土名仁先生、洲鎌盛一先生、藏下要先生

## 第22回うらそえ市民公開講座 FM21特別ラジオ放送 報告

### 小児の新型コロナワクチン接種について ～知りたい・聞きたい・今わかっていること～

主催：浦添市医師会  
協力：沖縄県医師国民健康保険組合助成事業  
日時：令和4年3月24日（木）12：00  
場所：FM21株式会社

広報・会員親睦担当理事／パーソナリティ 藏下 要



『うらそえ市民公開講座』は毎年秋に、浦添市でだこホールで開催されてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2019年10月の開催を最後にその後開催の中止を余儀なくされてきました。2021年度も多数の市民が一つの会場に集まって講演会を開催するのが困難な状況は変わらず、2年続けての市民公開講座の中止もやむを得ない状況となりました。しかし“市民に医療や健康に関する正しい情報を届ける”という、この市民公開講座の大切な役割は何らかの形で果たすべきとの意見が挙がり、今回は年度の終わりの3月にFMラジオを通して市民公開講座を開催するという新たな形式を取り入れることにしました。

テーマは、これからまさに始まろうとしていた、小児の新型コロナワクチン接種を取り上げました。このテーマに関しては、エビデンスの高い確かな情報がまだ少なく、また小児への接種に関しては社会の中で賛否両論もあったことから、これまでの市民公開講座の時とは異なり、かなりチャレンジ的な部分もあったように思います。ただ、マスコミやネット上で小児へのこのワクチン接種に関する情報が錯綜し、親御さんの不安が多い中で、現時点においてわかっている正しい情報だけでもしっかり届けるということは、『うらそえ市民公開講座』の役割として意義のあることであると理事会でも了承を得て、開催に至ることができました。

第1部は講演、第2部はパネルディスカッション形式とし、講師はまちなと小児クリニックの新垣陽子先生、また第2部からはパネリストとして、浦添市医師会小児保健担当理事の新垣義清先生にも加わっていただき、私、藏下とFM21株式会社パーソナリティーの城前ふみさんの司会進行で放送を進めていきました。今回の市民公開講座の基本的スタンスは“小児へのコロナワクチン接種を積極的に推奨するものでも、推奨しないというものでもなく、今の時点でわかっている点、わかっていない点を正しく市民にお伝えして、接種の是非を親御さんできちんと判断してもらえるようにする”ということにしました。

第1部の陽子先生のご講演はとても丁寧でわかりやすく、またその明るくて優しい語り口から話される内容は十分リスナーに伝わったのではないかと感じました。第2部は事前に市民からいただいた、小児へのコロナワクチン接種に関する質問にお答えする形で進め、義清先生の円熟味のある軽快なトークも交えながら、内容の濃い楽しいパネルディスカッションとなりました。

今回のFMラジオを通して行う市民公開講座は、今後のWithコロナの時代において一つの新たな情報提供の形となりうる事が実感できました。コロナの感染状況を見ながら会場での開催を模索しつつ、より多くの市民に向けてFMラジオを使った情報発信の形式は今後とも必要ではないかと感じました。



打合せの様子



洲鎌浦添市医師会長のご挨拶



まちなと小児クリニック新垣義清先生と新垣陽子先生にお話を伺いました。  
パーソナリティーはFM21城前ふみさんと藏下要先生です



ご講演ありがとうございました!

## 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー事務局

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置され今年で8年目を迎えます。

### 令和3年度 浦添市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告(概要) (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

#### 地域の医療・介護の資源の把握

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページの管理・運営  
(URL:<http://www.urasshii.com/>)  
掲載内容の更新、新規事業所や休止事業所の把握、専門職への情報提供

#### 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

浦添市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会の開催  
一次連携(同職種連携)支援(医師)  
救急現場における医療・介護連携に向けて介護関連施設へアンケート調査  
(高齢者福祉施設ガイドブック・救急連絡シート等の活用について)  
介護予防・日常生活支援総合事業と連携し、市内の医療機関へ介護予防・生活支援サービス  
事業等の周知に向けて  
浦添市・医療・介護事業所コロナ対策協働プロジェクト(参画)

#### 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

在宅医療や在宅主治医に関する依頼・相談(23件)  
在宅主治医(訪問診療)の紹介(14件)  
在宅医療参入機関(1件)  
新型コロナウイルス感染症自宅療養者に対する在宅医療体制について  
会議(8回)、意見交換会(毎週1回計22回)、遠隔診療・往診依頼(55件)  
新型コロナウイルス感染症自宅療養者対応についてのアンケート調査(2回)  
新型コロナウイルス感染症濃厚接触者高齢者の対応についてアンケート調査

## 第22回うらそえ市民公開講座に参加して

まちなと小児クリニック 医師 新垣 陽子



この度、第22回うらそえ市民公開講座「小児の新型コロナウイルスワクチン接種について～知りたい・聞きたい・今わかっていること～」に僭越ながら講師として出演させていただきました。

私もちょうど接種対象となった7歳児の親ですので、親としてどんなことを知りたいかを考えながら原稿を考えました。緊張してうまく伝えられたかわかりませんが、今回の講座がワクチンを接種するかどうか決める家族会議をするときの一助となっていれば幸いです。

初めてのラジオ出演でしたが、自分のリクエスト曲を流してもらって、私も一緒に聞いていた子どもも喜んでいました。このような機会を与えてくださった医師会の皆様、スタッフの皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第22回うらそえ市民公開講座に参加して

FM21株式会社 パーソナリティ 城前 ふみ



第22回うらそえ市民公開講座に参加させて頂き感謝申し上げます。

多くの講演会や講座が開催中止・延期される中、ラジオでの開催は大変有意義な企画であり、また、これまで体調不良等で講座への参加をあきらめていた市民の皆様にも、ラジオを聴くことで疑似体験できたのではないのでしょうか。

今回のテーマ“小児の新型コロナワクチン接種”は同ウイルスの小児への広がりが増著となる昨今、まさにタイムリーな内容であり1部の講話、2部のパネルディスカッションとも活発な質疑応答が行われる等、お母さんたちの疑問もだいぶ解消されたものと思います。コロナ禍の収束は未だ見通せませんが、今後とも市民目線での講座が継続されることを期待します。

## 医療・介護関係者の情報共有の支援

高齢者福祉施設等における救急ガイドブック及び救急連絡シートの周知活動  
及び活用状況を把握  
入退院時の連携支援として、MSWと介護支援専門員との意見交換会開催の検討  
医療介護ネットワーク2025(参画)

## 在宅医療・介護連携に関する相談支援

相談件数(69件)  
高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症発生時の相談件数(1件)  
広報用リーフレット作成

## 医療・介護関係者の研修

多職種連携研修会の開催(1回)  
医療介護ネットワーク2025A分科会 共催(1回)  
各種研修会への参加(6回)

## 地域住民への普及啓発

集団接種会場において市民公開講座DVDの放映(3回)  
命を守るべいのちの道標パンフレット周知・事業説明(1回)

## その他

地区医師会コーディネーターミーティング  
在宅医療・介護連携市町村支援事業コーディネーター等連絡会議  
うらそえ介護福祉士会との連携(随時)

## 会員寄稿

### 「閉院顛末記」

牧港泌尿器科 院長 金城 勤



今年2月、21年間携わってきた牧港泌尿器科を閉院した。開院当初は泌尿器科を主に標榜して診療を行う診療所は珍しく、浦添では当院が最初で、病院にはないフットワークの良さで泌尿器疾患を最初に扱う医療機関として、重宝してもらったと自負している。

5年目に病診連携中の浦添総合病院の泌尿器科がなくなり困惑したが、私にとっては都合よく同時期に同仁病院に本格的な泌尿器の診療科が出来、以後は色々な面で助けていただき、とてもありがたかった。

開院時はとりあえず20年を目標に頑張ろうと思って始めたが、その後も体力が続く限りは続けていくのだろうというおぼろげな自覚はあった。しかし、2年前からの新型コロナウイルス蔓延による思いもよらぬ社会状況の変化である。患者減による診療報酬減もさることながら、職員の感染のみならず、保育園の休園等々、いろんな要素で職員の休業があり、少人数体制の泌尿器科では蔓延期には、今日は診療できるのか、と毎日ひやひやであった。

新型コロナウイルス感染の治療に直接携わることのない診療科への補助は雀の涙程度で、休業するだけで手厚い補償(協力金)がありコロナバブルと言われる状態の業種もあると聞くので、何かすっきりしない思いはある。世間一般の定年とされる年齢65歳に昨年1年に達したこともあり、新型コロナウイルスに背中を押される形で閉院することを決意した。

閉院を決めてからは3か月前から告知をはじめ、希望者にはできるだけ紹介状を記載したが、手書きで件数も多かった為、十分な内容になったか危惧している。閉院後は官公庁への届け出、カルテの処理、レセコン等のデータ処理、医療機器の中古買取業者への引き渡し等々、色んな方々に手伝ってもらったが、それでも原状回復工事を残して片づけに2週間程かかった。中でも紙カルテで診療を続けていたので、保存するもの、処分するものの仕分けに時間がかかり、処分するカルテは適切に処理されたかの確認で処分場での立会も行った。懐かしい名前のカルテを手にとると、ついついこの方は結局どうなったのかと、医師の性なのか、中身を見てしまって滞る原因を作ってしまう、スタッフには申し訳なかった。今時紙カルテを使っている医療機関は少ないと思いますが、業務のIT化は着実に進めておいたほうが苦労は少ないと思います。

今回の閉院に際しては当初から大学の先輩でもある岸本真知子先生(元岸本こどもクリニック院長で一昨年当誌に寄稿している)に事細かくアドバイス頂き、感謝しています。

今はかねてより観たいと思っていた舞台(歌舞伎、劇団新感線、宝塚)、好きな将棋のタイトル戦の大盤解説会への参加、国内小旅行、県内だと未体験の沖縄アリーナでのバスケット観戦等計画中等である。

これまで牧港泌尿器科を支えてくださった多くの皆様に改めて感謝申し上げます。



## 「閉院、廃業の挨拶」

外間眼科 院長 外間 政利



2021年10月30日をもって当院は閉院しました。31年間続けられたのは、浦添市医師会のみならず、他地域の医師や施設（総合病院）の皆様や医療機器の会社の方々や松田薬局、薬品会社、情報の助けになったMRの方々のお陰と感謝しています。深く御礼申し上げます。

内科関係の疾患をお持ちの患者様の術前のチェックにご協力頂いた先生方には本当にお世話になり、ありがとうございました。開業という一人孤軍奮闘というイメージがありましたが、とんでもありませんでした。医療連携がいかに大事かわかりました。

最も大事なクリニックの全体の運用と事務を担当してくれた妻には本当に苦勞を掛けました。経理をはじめ、職員の採用や休んだ時の代理や産休補充の手配、年休の調整などのこまごまとした管理が無ければ運営も出来ませんでした。

また職員も長く勤めてくれた方が多く、本当にお疲れ様でした。20年以上の勤務の間、出産や育児、親の介護などに苦勞しながらも、続けてくれてありがたかったです。まだ働ける期間がありますので次の勤務先でも頑張ってください。

次に個人的なことなので書こうか迷いましたが、若い先生方の参考になるかもしれませんので書こうと思います。開業して初めのころは自信もあり、体力もありますので毎日忙しくても、むしろ借金返済などのモチベーションのためある意味やる気全開で仕事も楽しく出来ます。

そして、患者さんも増え、地域の皆さんの認知度も上がり、借金も減っていく頃が一番充実しています。親も健在で幼い子供たちが大きくなっていくと本当に時間がたつのも早く感じることもないほどに過ぎていきます。50歳後半になると家庭も別の意味で色々忙しくなります。祖父母や両親との別れがやってきます。子供たちは進学、卒業、就職、結婚、出産とイベントが次々と続きます。そのような中で、クリニックのことも自分の知識や技術のスキルアップもしなければなりません。長くやっていると医療上のトラブルも避けては通れません。

60歳を過ぎると勤続疲労が知らず知らずのうちに肉体と精神を徐々に蝕んでいきます。さらに、医療機械の更新が近づくともどれくらい出来るのかが、心配の種となります。10年は使える器械を今更新して使い切ることができるか考慮しなければなりません。跡継ぎや継承者がいればいいのですが、業界紙によると7-8割の個人開業医は跡継ぎも継承者もないのが現状だそうです。

自分のクリニックもそういう状況になりつつあるところに、進行胃癌と診断されました。決断の時がいやおうなしに訪れたわけです。

どれくらい休めばいいのか、代診はどうするか、復帰はいつ出来るのか、もし合併症が起きて、1-2か月休診となると収入が無くなるので、貯金が大幅に減ることになるだろう。色々心配事が次々と頭をよぎりました。仔細は省きますが、何とか手術後9日で退院し、4日ほど休み、外来診療のみ再開しました。今までやっていた白内障のオペは集中力と体力がなく

なり止めました。しかし収入の大きな部分ですのでそれが無くなるとどうにかしなければ赤字倒産は目に見えています。結局、閉院がベストとの結論に至りました。

3ヶ月かけて患者さんに説明と紹介先の施設を相談し、紹介状を書くという作業を続けて10月30日についに閉院にこぎつけました。

さて、ここまで得た教訓はもう自分には意味がありませんが、これから20-30年と一人開業を続けていく先生方にはいくつかアドバイスがあります。まず10年ごとの目標設定と器械の更新の時期については慎重に決定してゆく必要があります。たいていの器械は10年で使用期限がきます。まだまだ使えるのに保守、修理を打ち切るとの理由で否応なく新しい器械の購入を余儀なくさせられます。新しい技術やテクノロジーの進歩は益々急になり、メーカーも競争原理からは逃れられず、クリニックに買い替えを勧めます。ですから器械を更新して2-3年後に辞めると、残った器械は言葉は悪いですが二束三文で処分しなければなりません。自由な競争原理にのっとった資本主義社会の仕組みと言えは聞こえはいいですがシビアなものです。

次に大事なことは長く続けるには自分の健康をしっかりチェックし定期的な検診を怠らないことが大前提となります。業界紙には開業してすぐに健康を損なったり、最悪の場合急死して、残されたスタッフ、家族が大変な思いをされたケースがしばしば紹介されています。私の場合は69歳というもう引退してもおかしくない年齢で、借金もなく子供たちも巣立った状況だったので安心して辞められました。現在開業中の若手の先生方には健康に充分留意されつつ、今後のご健闘を祈っています。

自分はずっと裕福な家庭ではなく、兄弟も5人いて両親は苦勞したようです。教育資金を借りたり、食費を切り詰めた話も、あとで知って少し驚きました。その分両親の老後は十分な金銭的援助をし、少しは親孝行して恩を返せたなと思っています。

憂いなく閉院はできませんでしたが、まずまずの医師人生だったかもしれません。今後は飽きずに長らく続けられる趣味をいくつか増やしていこうと思っています。今のところ、ゴルフ、音楽鑑賞、映画鑑賞、ピアノの練習、将棋観戦、YouTubeで興味ある色々なサイトを見るなどが主な暇つぶしです。また、孫の世話と成長を見るのが最大の喜びです。

コロナが収まれば旅行なども楽しみたいと思っています。

最後に下手な英語俳句にも挑戦したい。まず一句。

A Gentle breeze blows through  
Stroking my cheeks softly  
Feeling life is beautiful

仕事を辞めて平日の朝、一人浦添パブリックゴルフ場でティーショットを待っていると、柔らかな風が吹きぬけ、汗ばんだ額や頬を撫でていった。生きている喜びってこういう事なのだと感じました。

最後に自分にエールを込めて言いたい。

Life goes on.  
Be honest to yourself and love not only your family but also your friends.  
Love never dies but human.  
Tomorrow is another day.  
Live & enjoy your life. Life is once.  
というわけで皆様ありがとうございました。

2022年 4月 新緑の頃

## 「子宮頸がんワクチンの 勧奨接種再開について」

まちなと小児クリニック 院長 新垣 義清



今年4月から子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)の勧奨接種が再開されることになりました。小学校6年生から高校1年生までの女兒が対象となります。このワクチンは2013年に副反応の問題で国が積極的な勧奨を控えるようになったことは記憶に残っていると思います。全身性のけいれんや記憶障害、歩行障害などの痛ましい症状がテレビなどで報道され、多くの人にショックを与えました。このため国は積極的な勧奨を中止し、副反応とワクチンの因果関係や出現頻度などの調査に努めてきました。8年間の調査と専門家会議の議論の結果、HPVワクチンとこれらの症状の発現には因果関係は乏しいとの結論となり、積極的勧奨接種の再開となった経緯があります。

HPVワクチンと上記のような症状の因果関係は諸外国では既に否定されており、世界120か国以上で接種が行われています。日本以外で副反応の問題で中止、あるいは延期になっている国はありません。アジア諸国でも例えば韓国では38万人のHPVワクチン接種群とそれ以外のワクチン接種群6万人を比べて副反応の割合に差はないとされました。

わが国でも愛知県や新潟県での大規模な調査の結果は全く同じでした。このように医学的あるいは統計学的にはHPVワクチンが悲惨な症状の原因であるとの意見は否定されています。なぜこのような症状が出るかは複合的な原因があると思われます。いずれにせよワクチンを打っても打たなくても出現頻度は統計学的に差はないとの結論です。

子宮頸がんはわが国では年間に1万5千人くらいが発症し、3千人前後が亡くなっています。発がんの原因の95%がヒトパピローマウイルス(HPV)感染によるものです。20代後半から40代前半の比較的若い人に多く発症し、小さな子供を残して亡くなる人も少なくありません。性交渉によって感染し、1回の性交渉でも感染することがあると言われています。いったん感染するとワクチンを打っても発症の予防効果が減少します。そのために性的接触の始まる前の年齢層からの接種が大切だと言われています。一般の主婦では50%の人がすでに感染しているとの報告があります。ほとんどの場合ウイルスは自然に消失しますが、ごく一部の人でウイルスの持続感染がおこり、がんの発症につながります。感染からがん発症まで数10年かかることもあります。ワクチン接種と同時に子宮がん検診を受けることも大切です。ワクチンを打ったから大丈夫と安心してはいけません。

この二つの対策で子宮頸がんの発症は80%減少させることができます。オーストラリアでは4年後に子宮頸がんの発症を0にするという目標を立てて実現に邁進しています。予防できるがんは予防しなければいけません。わが国が早く世界のレベルに追いつけるよう期待したいと思います。

## 病院だより

### 災害拠点精神科病院指定について

ひらやす  
特定医療法人へいあん 平安病院

当院は令和3年9月9日付、沖縄県より、国立病院機構琉球病院と共に、大規模災害時に被災地から精神科患者の受け入れなどを担う「災害拠点精神科病院」の指定を受けました。

災害拠点精神科病院とは

- ・災害拠点精神科病院は、以下のような機能を有し、24時間対応可能な緊急体制を確保すること等により、災害時の地域精神科医療の中心的な役割を担います。
- ・医療保護入院、措置入院等の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神科医療を行うための精神科診療機能
- ・被災地からの精神疾患を有する患者の受け入れや、一時的避難場所としての機能
- ・災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣機能



平成23年の東日本大震災及び平成28年の熊本地震では被災した精神科病院から多数の患者搬送が行われましたが、精神科病院からの患者の受け入れや精神症状の安定等について災害時の救急医療の拠点である「災害拠点病院」のみで対応することは困難であること、またそれまでの体制での課題を踏まえ、国の有識者による検討会での議論により、各都道府県で災害拠点病院に類似の機能を有する「災害拠点精神科病院」を指定することとなりました。

災害拠点精神科病院の主な指定要件としては

- (1) 運営体制
  - ・24時間の緊急対応し、被災地内の患者の受け入れ及び搬出が可能な体制を有する
  - ・被災地からの精神科医療の必要な患者の受け入れ拠点となる
  - ・DPATの保有及びその派遣体制を有する等
- (2) 施設及び整備
  - ・病棟、診療棟精神科診療に必要な部門を設置する
  - ・耐震構造を有する
  - ・3日分程度の燃料の確保、食料、飲料水、医薬品等の備蓄をする
  - ・病院敷地内に患者の一時的避難所を運営するための施設を前もって確保する等となっております。

～ 災害医療に興味のある精神保健指定医・看護師、絶賛!大募集中! ～

## 理事会報告（令和4年1月～4月）

### 令和4年1月17日（月）19:00

1. 入会・退会・異動報告
2. 会議・研修会等参加報告
  - ・新型コロナウイルス感染症対策地区医師会及び関係者連絡会議
  - ・新型コロナウイルス感染症後遺症に関する研修会
3. 新型コロナウイルス感染症関係
  - ・浦添地区新型コロナウイルス検体採取センターの契約再延長について
  - ・浦添地区新型コロナウイルス検体採取センターでの検査実績と現状について
  - ・追加接種（3回目）向けワクチン集団接種について
  - ・5歳～11歳の小児へのコロナワクチン接種について
4. 協賛依頼
  - ・第62回産業精神衛生研究会
5. プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣について
6. 報告事項
  - ・浦添市福祉事務所嘱託医の推薦について

### 令和4年2月21日（月）19:00

1. 異動・退会報告
2. 会議・研修会等参加報告
  - ・令和3年度第1回沖縄県産業医研修連絡協議会
  - ・令和3年度第2回かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会
  - ・新型コロナウイルス感染症高齢者施設等対応に関する地区医師会との連絡会議
  - ・小児（5歳～11歳）における新型コロナウイルスワクチン接種体制構築に係る第2回関係者会議
3. 新型コロナウイルス感染症関係
  - ・自宅療養者への支援実績（往診・電話診療・配薬など）
  - ・集団接種について
  - ・5歳～11歳の小児へのコロナワクチン接種について
4. 第60回浦添市医師会ゴルフコンペの開催について
5. 第22回うらそえ市民公開講座（FM21特別ラジオ放送）について
6. 沖縄県医師会代議員の選出（更新）について
7. 承認事項
  - ・令和4年度浦添市個別予防接種委託料見積りについて
  - ・浦添市社会福祉協議会設置65周年・法人設立50周年記念事業（後援依頼）

8. 報告・お知らせ
  - ・プロ野球オープン戦開催に伴う医師・看護師の派遣決定について
  - ・令和4年度（第24回）浦添市医師会学術奨励賞演題募集・発表会・表彰式の開催について
  - ・牧港泌尿器科閉院について（2月末閉院）
  - ・来月の理事会開催日について
  - ・浦添市医師会定時総会開催日について

### 令和4年3月22日（火）19:00

1. 入会・退会・異動報告
2. 新型コロナウイルスワクチン接種関係
  - ・個別接種医療施設での接種事故について
  - ・小児（5歳～11歳）への新型コロナワクチン接種について
  - ・高齢者施設への新型コロナワクチン巡回接種対応施設への配分金について
3. 第22回うらそえ市民公開講座（FM21特別ラジオ放送）について
4. 第60回浦添市医師会定時総会について
5. 令和4年度各種表彰候補者の推薦について
6. 承認事項
  - ・14th With you ～ OKINAWA 2022（後援依頼）
  - ・浦添市社会福祉協議会設置65周年・法人設立50周年記念事業資金造成チャリティー事業協力依頼
7. 報告・お知らせ
  - ・浦添市医師会設立30周年について
  - ・「浦添地区新型コロナウイルス検体採取センター」の事業終了について
  - ・学術講演会の開催について

### 令和4年4月18日（月）19:00

1. 入会・退会・異動報告
2. 新型コロナウイルスワクチン接種関係
  - ・個別接種医療施設での接種事故について
  - ・集団接種について
3. 新型コロナウイルス感染症自宅療養者ならびに高齢者施設への医療支援に関する意見交換会について
4. 第148回浦添市医師会学術講演会について
5. 令和4年度（第24回）浦添市医師会学術奨励賞演題募集について
6. 定期予防接種事故（平成24年以降）について
7. 正味財産額の増加に伴う会員施設への還元について

8. 承認事項

- ・ウクライナ人道支援のための寄付 (各地区医師会10万円)
- ・浦添市観光協会会費納入について
- ・沖縄県母子保健推進員連絡協議会賛助会員会費納入について
- ・令和4年度浦添市社会福祉協議会特別会員会費納入について

9. 報告・お知らせ

- ・先月の理事会にて後援を承認しました「14th.With you～OKINAWA 2022」は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催中止となりました。
- ・新型コロナウイルス自宅療養者への遠隔・往診依頼対応のため、4月より医師会事務局の稼働を無休体制としています。  
土曜、日曜は当番制で1名勤務(9時～18時)。  
集団接種会場での対応は浦添市役所職員にご協力いただけることになりましたので、医師会スタッフの現場対応はなくなりました。引き続き、当番表の作成・連絡調整は当会で行います。

## 訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和4年5月24日御逝去

故 赤嶺 正裕 先生 (享年73歳)

元 赤嶺レディースクリニック院長

役員歴 浦添市医師会裁定委員  
(2期4年：平成10年4月～平成14年3月)

## 入会・退会・異動報告 (令和4年1月～4月理事会)

| 入 会     |          |       |        |
|---------|----------|-------|--------|
| 氏 名     | 医療機関名    | 診療科目  | 入会年月日  |
| 喜友名 朝 則 | 浦添総合病院   | 耳鼻咽喉科 | R4.2.1 |
| 又 吉 宣   | げんか耳鼻咽喉科 | 耳鼻咽喉科 | R4.4.1 |
| 豊 里 一 郎 | 平安病院     | 精神科   | R4.4.1 |
| 赤 嶺 宏 太 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 五十嵐 公 一 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 石 井 守   | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 今 井 貴 浩 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 入 江 拓   | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 大 嶺 幹   | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 小 原 有 賀 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 尾茂田 眞 榮 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 塚 原 悠 河 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 照喜名 従 真 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 中 谷 太   | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 波 津 和 那 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |
| 星 原 祐 輝 | 浦添総合病院   | 臨床研修医 | R4.4.1 |

| 異 動     |                 |              |          |
|---------|-----------------|--------------|----------|
| 氏 名     | 医療機関名           | 異動事由         | 異動年月日    |
| 伊 室 伸 哉 | パークレーいむろ心のクリニック | 現住所表示変更      | R3.12.20 |
| 辺野喜 英 夫 | 辺野喜内科・小児科       | 閉院・会員区分変更    | R4.1.1   |
| 金 城 勤   | 牧港泌尿器科          | 閉院・会員区分変更    | R4.3.1   |
| 源 河 朝 博 | げんか耳鼻咽喉科        | 管理者交代・会員区分変更 | R4.4.1   |

| 退 会     |            |        |          |
|---------|------------|--------|----------|
| 氏 名     | 医療機関名      | 退会事由   | 退会年月日    |
| 儀 間 義 勝 | 浦添総合病院     | 廃業・退職  | R3.8.31  |
| 砂 川 しのぶ | 浦添総合病院     | 廃業・退職  | R3.8.31  |
| 飯 塚 築   | 浦添総合病院     | 廃業・退職  | R3.9.30  |
| 山 里 将 進 | かじまやークリニック | 医師会の異動 | R3.12.31 |
| 渋谷 まり子  | 牧港クリニック    | 廃業・退職  | R4.1.31  |
| 山 下 懐   | 浦添総合病院     | 廃業・退職  | R4.1.31  |
| 池 間 尚 子 | たから小児科医院   | 医師会の異動 | R4.3.31  |
| 宇佐美 福 人 | 浦添総合病院     | 医師会の異動 | R4.3.31  |
| 樺 澤 森   | 浦添総合病院     | 医師会の異動 | R4.3.31  |
| 片 岡 小百合 | 浦添総合病院     | 医師会の異動 | R4.3.31  |
| 皆 川 駿   | 浦添総合病院     | 医師会の異動 | R4.3.31  |
| 祐 森 敦 士 | 浦添総合病院     | 医師会の異動 | R4.3.31  |

## 講演会・研修会等のご案内

予定が変更になることもございます。ご了承ください。

| 日時               | 場所          | 講演会・研修名                           | 講師  | 日医生涯教育制度<br>カリキュラムコード |
|------------------|-------------|-----------------------------------|---|-----------------------|
| 5/18(水)<br>19:00 | 浦添市医師会・ZOOM | 第148回浦添市医師会学術講演会                  | 座長：洲鎌 盛一先生<br>(牧港中央病院 理事長)<br>講師：永野 貴昭先生<br>(琉球大学病院 第二外科 診療准教授) | 10 (チーム医療)<br>42 (胸痛) |
| 6/8(水)<br>19:00  | 浦添市医師会      | 6月二水会 (予定)                        |   |                       |
| 6/27(月)<br>19:00 | 浦添市医師会      | 第61回浦添市医師会定時総会                    |   |                       |
| 7/13(水)<br>19:00 | 浦添市医師会・ZOOM | 令和4年度(第24回)浦添市医師会<br>学術奨励賞発表会・表彰式 | —   | —                     |
| 8/10(水)<br>19:00 | 浦添市医師会      | 8月二水会 (予定)                        |   |                       |
| 8/19(金)<br>19:00 | てだこボウル      | 第31回浦添市医師会ボウリング大会 (予定)            | —   | —                     |
| 9/21(水)<br>19:00 | 浦添市医師会      | 第149回学術講演会 (予定)                   | —   | —                     |
| 9/23(金)<br>7:30  | 琉球ゴルフ倶楽部    | 第61回浦添市医師会ゴルフコンペ (予定)             | —   | —                     |

※浦添市在宅医療ネットワーク世話人は毎月開催しております。詳細が決まり次第ご連絡申し上げます。

## 事務局からのお知らせ

### 浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

#### 浦添市医師会事務局

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail:info@uraishi.or.jp <http://www.uraishi.or.jp>

### 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698

### 弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の一親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。

供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのようなときは浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

## 浦添市医師会報へ掲載する表紙写真・会員寄稿 病院だより・診療所だより等のご寄稿を募集しております

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話・・・など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。

昨今のコロナ禍で各種講演会等が延期となり、会員間の情報共有が取りづらくなっております。そこで、浦添市医師会報誌面を活用し、会員間、病院—診療所間の交流や各施設の情報提供などを目的として「病院だより」「診療所だより」のコーナーを設けております。お知らせ等お気軽にご寄稿いただけますと幸いです。

原稿は随時募集しておりますので、メールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

### 寄稿仕様

#### ①表紙の写真

写真タイトル・表紙のことば(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

#### ②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

#### ③病院だより・診療所だより

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、ご投稿ください。お知らせや診療についてのご案内等お寄せください。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。頂きましたご連絡先は、校正等のご連絡に使用させていただきます。

#### ★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

Email:info@uraishi.or.jp

## 編集後記

今年の沖縄の梅雨は例年にないほど雨が多く、本当にうっとうしい日々が続いています。

県内の新型コロナウイルス新規感染者は1日2000名を超える日もあり、もはや感染者数に関しては感覚が麻痺してさほど驚かなくなりました。コロナの終息を願いつつも、コロナと共存する日常を模索し続けることは今後とも必要なかもしれません。

報告にもありますように浦添市カルチャーパーク駐車場で行われてきた、新型コロナワクチン接種事業は一旦5月いっぱい終了となります。ご協力いただいた先生方、会員施設のスタッフの皆さんに心より感謝申し上げます。

コロナの影響で中止を余儀なくされていた医師会の様々な活動が少しずつではありますが再開されてきました。医師会のゴルフコンペでは感染防止対策として終了後の懇親会、表彰式は行わないとしながら、ゴルフによる親睦は行うことができました。うらそえ市民公開講座はFMラジオを通して情報を発信するスタイルでチャレンジし、無事開催することができました。また学術講演会も医師会事務局での少人数の参加とZOOM配信のハイブリッド形式で再開しています。

会員寄稿では浦添市医師会の大先輩の先生方から原稿が寄せられています。中でも外間眼科の外間政利先生の寄稿文には若手開業医の先生方に向けたメッセージも込められています。ぜひご一読ください。

コロナ禍で会員同士がなかなか顔を合わすことのできない状況です。この様なときだからこそ、浦添市医師会報の中での情報共有、意見交換は重要ではないかと考えています。今後とも会員の皆様の会報誌に対する益々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(会員親睦・広報担当理事 藏下 要)

浦添市医師会報 2022年(令和4年)春夏号 通算第88号

発行:一般社団法人浦添市医師会 発行人:洲鎌 盛一

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362

E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ http://www.uraishi.or.jp

制作/株式会社スイッチ

# 2022年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2022年7月～12月)

| 7月  |             | 8月  |                |
|-----|-------------|-----|----------------|
| 4日  | たつや整形外科     | 1日  | 介護老人保健施設アルカディア |
| 11日 | うらそえ介護福祉士会  | 8日  | 牧港クリニック        |
| 18日 | なしろハルンクリニック | 15日 | アイビーホームケアクリニック |
| 25日 | 南斗クリニック     | 22日 | 浦添市社会福祉協議会     |
|     |             | 29日 | 徳山クリニック        |

  

| 9月  |                    | 10月 |           |
|-----|--------------------|-----|-----------|
| 5日  | サンパーク胃腸内科クリニック     | 3日  | 浦添市こども家庭課 |
| 12日 | 浦添市地域包括支援センターゆいまある | 10日 | 宮良クリニック   |
| 19日 | 沖縄療育園              | 17日 | マンマ家クリニック |
| 26日 | ありんクリニック小児科        | 24日 | 同仁病院      |
|     |                    | 31日 | 浦添総合病院    |

  

| 11月 |                      | 12月 |                   |
|-----|----------------------|-----|-------------------|
| 7日  | バリアフリーオリンピック実行委員会    | 5日  | みやざと内科クリニック       |
| 14日 | 比嘉眼科                 | 12日 | 介護老人保健施設エメロードてだこ苑 |
| 21日 | 浦添市地域包括支援センターライフサポート | 19日 | 佐久田脳神経外科・外科       |
| 28日 | キンザー前クリニック           | 26日 | 年末特別放送            |

**ラジオ** 浦添市医師会提供  
**番組** 「ゆんたく健康トーク」 毎週月曜日 午後8時～9時

FM21 (76.8Mhz) で好評放送中！

## FM21「ゆんたく健康トーク」再放送のお知らせ

毎週月曜日の午後8時から放送しております  
「ゆんたく健康トーク」は、月曜日に放送した回を  
毎週日曜日の朝6時から再放送しております。  
聞き逃した回やもう1度聴きたい回をお聴きいただけます♪